

国営公園整備プログラム(案)に関するパブリックコメントの結果について

1. 意見募集対象

国営公園整備プログラム(案)(計画期間:平成20年度~平成24年度)

- 国営海の中道海浜公園整備プログラム(案)
- 国営吉野ヶ里歴史公園整備プログラム(案)

2. 意見公募について

1) 周知方法

- ・九州地方整備局ホームページに掲載 →閲覧可能期間:H20.4.23~H20.5.23
- ・平成20年4月23日に記者発表 →日刊建設工業新聞(H20.4.25)、日刊建設通信新聞(H20.4.25)、佐賀建設新聞(H20.4.28)、佐賀新聞(H20.5.8)に掲載

2) 資料入手方法

- ・九州地方整備局ホームページから各案と意見応募様式をダウンロード
- ・窓口(九州地整建政部都市住宅整備課公園係)に問い合わせ

3) 意見募集期間 : 平成20年4月23日(水)~5月23日(金)

4) 意見提出方法 : FAX、郵送、電子メール

3. 寄せられた意見

1) 意見提出者数:2(意見数:12)

2) 意見内容

■国営海の中道海浜公園(5件)

- ① 新しいエリアの整備やユニバーサルデザイン化だけでなく、今での多くの方が利用されている既存のエリア(大芝生広場、遊園地、プール、動物の森、水族館など)の魅力アップ、日常のサービスの向上にも力を入れてほしい。
- ② 中国四川大地震の発生などで、防災に対する不安感が高まっていると思うので、単なる耐震化だけではなく、市と連携し、資材や水、食糧などの備蓄を行うなど、さらに一歩進んだ防災対策も検討すべきではないか。
- ③ 環境共生の森、森の池での取り組みについて、コンセプトはわかったが、どういうところが「先進的」で他の公園のモデルとなるのか、少しでも具体的に書かれていたほうが、新規整備区域のイメージがわくように思う。せっかく「国」が行う環境教育であるので、地球温暖化問題へのアプローチは、単なるCO2吸収源としての緑化というところまでとどまるのではなく、地球規模での問題意識が芽生えるような環境教育を目指してほしいと思う。
- ④ 吉野ヶ里公園では、外国人観光客誘致と地元主催イベントの数字目標があるが、海の中道海浜公園で目標値がないのは不自然な気がする。
- ⑤ 昨年遊びに行きましたが、さまざまな施設があって、楽しく遊びました。特に、玄界灘を臨む展望台からの景色が印象に残っています。今後玄界灘海浜部中央エリアが開園するとありますが、砂浜にも近づけるようになってよと思います。(理由:波が高かったので安全面の問題があるのかもしれませんが、せっかくの広大な砂浜なので気候がよければ歩きたいと思います。)

■ 国営吉野ヶ里歴史公園(7件)

- ① 古代植物館や甕棺墓列がどういうものなのか、言葉ではよくわからないので、もっとわかりやすい表現をしてほしい。
- ② 体験学習プログラムの参加率の目標は少なすぎるのではないかという印象を受けた。
- ③ 海外からの外国人の利用者数を増加させるための「連携・交流」は、どのようなことを示しているのかあいまいで、実際に今より15倍近い外国人観光客の方を誘致できるのか疑問。
- ④ P8の目標で、表現を「地元持込イベント集客人数」ではなく、「地元主催イベント参加人数」に直したほうがわかりやすいと思う。
- ⑤ P9で、ボランティア拠点の充実などにより「利用者のニーズを反映する」となっているが、利用者のニーズの反映とボランティアの環境整備は、直接的な結びつきが薄いように思う。
- ⑥ せっかく弥生時代の景観にこだわった公園なので、ユニバーサルデザインや太陽光発電などの取り組みは、十分にその歴史的な景観に配慮した形で行って欲しい。
- ⑦ ボランティアとの連携を推進するとありましたが、公園の施設の背景や歴史を教えてくれる方が大勢いらっしゃると、遊びに来た人たちもより楽しむことができると思うので、そういったボランティアの方を増やしていけるとよいと思います。(理由:解説版だけよりも、話を聞いたほうが印象も強く、理解しやすいですし、実際に人が動いて見せることで生活感が感じられ過去のイメージが湧くと思います。)

■国営海の中道海浜公園

ご意見	対応方針	具体的な内容
新しいエリアの整備やユニバーサルデザインだけでなく、今での多くの方が利用されている既存のエリア(大芝生広場、遊園地、プール、動物の森、水族館など)の魅力アップ、日常のサービスの向上にも力を入れてほしい。	ご意見を踏まえ修正いたしました。  なお、日常のサービス向上については、右記のとおり対応していると考えております。	対応箇所P5 今後5年間については、引き続き、平成18年6月に制定された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づいたユニバーサルデザインを計画的に進めます。その際、動物とふれあえる「動物の森」や <b>多種多様な遊具が楽しめる「子供の広場」、海が感じられる「潮見台」などの既存施設の魅力アップを図るとともに、これらの魅力を楽しめるネットワークルートの設定や改善など、すべての人が安心して楽しく利用できるよう、ユニバーサルデザインを進めます。</b>  これまで推進してきた施設面のユニバーサルデザインに加え、今後5年間については、施設面を補完するソフト面でのユニバーサルデザインを進めます。特に、アクティビティベースの情報提供(※)の充実や職員などによるきめ細やかなサポート体制の確立などを進めることにより、既存施設も含めた魅力アップを図り、来園者への一層のホスピタリティ向上に努めます。
中国四川大地震の発生などで、防災に対する不安感が高まっていると思うので、単なる耐震化だけではなく、市と連携し、資材や水、食糧などの備蓄を行うなど、さらに一歩進んだ防災対策も検討すべきではないか。	今後の公園整備の参考とさせていただきます。	
環境共生の森、森の池での取り組みについて、コンセプトはわかったが、どういうところが「先進的」で他の公園のモデルとなるのか、少しでも具体的に書かれていたほうが、新規整備区域のイメージがわくように思う。せっかく「国」が行う環境教育であるので、地球温暖化問題へのアプローチは、単なるCO2吸収源としての緑化というところでとどまるのではなく、地球規模での問題意識が芽生えるような環境教育を目指してほしいと思う。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P6 当公園では、「環境共生計画」に基づき、植物廃材の堆肥化や環境学習の実施など、地球温暖化防止、循環型社会構築及び自然環境の保全・再生に資する管理運営を行っています。 今後5年間については、引き続き、これらの取組を推進するとともに、特に、B地区「環境共生の森」においては、北部九州地域における環境学習活動の核として、小学生を主体とした市民とともに、タネから森を育て、継続的に管理していく新しい取組みに着手し、地球温暖化防止や自然環境、生態系の保全・創出技術の普及啓発に努めます。  <b>※文章中から「環境学習の先進的なモデルとして」を削除</b>
吉野ヶ里公園では、外国人観光客誘致と地元主催イベントの数字目標があるが、海の中道海浜公園で目標値がないのは不自然な気がする	今後の目標設定の参考とさせていただきます。	
昨年遊びに行きましたが、さまざまな施設があって、楽しく遊びました。特に、玄界灘を臨む展望台からの景色が印象に残っています。今後玄界灘海浜部中央エリアが開園するとありますが、砂浜にも近づけるようになるとうよいと思います。(理由:波が高かったので安全面の問題があるのかもしれませんが、せっかくの広大な砂浜なので気候がよければ歩きたいと思います。)	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P4 当公園が、佐賀県から福岡県にかけての玄界灘沿いの原風景である白砂青松の重要な一角を占めていることを踏まえ、D地区「玄界灘海浜部中央エリア」においては、当公園の周辺地域と一体となって白砂青松の保全・再生を進めるとともに、B地区「環境共生の森」と一体的に環境学習の場や <b>散策の場などとしても活用できるよう整備を進めます。</b>

■国営吉野ヶ里歴史公園

ご意見	対応方針	具体的な内容
古代植物館や壺棺墓列がどういものなのか、言葉ではよくわからないので、もっとわかりやすい表現をしてほしい。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P5 古代植物館についてイメージ図、壺棺墓列については写真を追加いたしました。
体験学習プログラムの参加率の目標は少なすぎるのではないかという印象を受けた。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P7 体験プログラム参加率「11.3%→12%」の表現を、よりわかりやすく体験プログラム参加人数「7.2万人→約10万人」に変更いたしました。
海外からの外国人の利用者数を増加させるための「連携・交流」は、どのようなことを示しているのかあいまいで、実際に今より15倍近い外国人観光客の方を誘致できるのか疑問。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P7、P8 外国人の利用者数については、昨今の社会情勢の急激な変化を考慮し、目標値を修正いたしました。 併せて、公園年間利用者数の目標についても修正いたしました。 外国人利用者数「3,110人→約5万人」から「3,110人→約1万人」に変更 公園の年間利用者数「69万人→79万人」から「69万人→74万人」に変更
P8の目標で、表現を「地元持込イベント集客人数」ではなく、「地元主催イベント参加人数」に直したほうがわかりやすいと思う。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	
P9で、ボランティア拠点の充実などにより「利用者のニーズを反映する」となっているが、利用者のニーズの反映とボランティアの環境整備は、直接的な結びつきが薄いように思う。	ご意見を踏まえ修正いたしました。	対応箇所P9 「実際に参加、体験しながら楽しむ公園利用を進めるため、ボランティア等と連携し、地域の方々に愛される公園となるために共に考え、行動するとともに、ボランティアの活動拠点等の充実を図るなど、これまで以上に利用者ニーズを反映した柔軟できめ細やかな管理運営を目指します。」 ↓ 「地域の方々に愛される公園となるために、実際に参加、体験しながら楽しむ公園利用を進め、ボランティア等と連携して共に考え、行動し、これまで以上に利用者のニーズを反映した柔軟できめ細やかな管理運営を目指します。また、ボランティアの活動拠点等の充実も図っていきます。」に変更いたしました。
せっかく弥生時代の景観にこだわった公園なので、ユニバーサルデザインや太陽光発電などの取り組みは、十分にその歴史的な景観に配慮した形で行って欲しい。	ご意見を踏まえ公園整備を推進していきます。	
ボランティアとの連携を推進するつもりですが、公園の施設の背景や歴史を教えてくださいの方が大勢いらつしゃると、遊びに来た人たちもより楽しむことができると思うので、そういったボランティアの方を増やしていけるとよいと思います。(理由:解説版だけよりも、話を聞いたほうが印象も強く、理解しやすいですし、実際に人が動いて見せることで生活感が感じられ過去のイメージが湧くと思います。)	ご意見を踏まえきめ細やかな管理運営を目指します。	